【 問 診 票 】

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1. これまでに胃内視鏡検査を何回くらい受けましたか。
   - 経口：　　回　　経鼻：　　回
   - 受けていない
2. 薬剤によるアレルギーはありますか
   - ある（薬品名：　　）
   - ない
3. 局所麻酔薬（小手術や歯科治療等で使用）により、気分不快や蕁麻疹が出現したことがありますか。
   - ある（どのような症状でしたか：　　）
   - ない
4. 高血圧・心疾患・糖尿病の治療薬や抗血栓薬を日常的に服用していますか。
   - 服用している（疾患名：　　薬品名：　　）
   - 服用していない
5. 《女性の方のみ》現在妊娠している可能性はありますか。
   - ある
   - ない
6. これまでに鼻の手術を受けたことがありますか。
   - ある（いつ頃：　　）
   - ない
7. 鼻出血をおこしやすいですか。
   - 鼻出血しやすい
   - あまりない
8. ピロリ菌検査を希望しますか。
   - 希望する（税込 2,200 円の追加負担が発生します）
   - 希望しない
9. これまでピロリ菌検査を受けたことがありますか。
   - 受けたことはない
   - 受けた　⇒　その結果は：　陰性（ピロリ菌はいない）　・　陽性（ピロリ菌がいる）

     《陽性の方》下記のどれにあてはまりますか。

     ・除菌成功した　・除菌治療後の確認をしていない　・除菌治療したが除菌できなかった

     ・除菌治療をうけていない　　・その他（　　）

裏へ

【 確　認　事　項 】

下記の内容をご確認ください。

◆ 内視鏡検査において、異常所見 または 疑わしい所見がある場合に、その一部を採取(生検)して検査機関に提出し、組織診断を行います。
生検組織診断は保険診療となりますので、健康診断とは別に自己負担金が発生します。
一般的な 3 割負担の場合の費用は、4,000 円程度です。
その結果は、1 週間後以降に来所していただいて、医師が説明します。
生検組織診断を行わず、観察のみの場合は別途費用はかかりません。

◆ 「経鼻上部消化管内視鏡検査を受けられる方へ」
「経鼻上部消化管内視鏡検査の当日の流れ」
「偶発症・合併症について」
を読み、確認いただきましたら、下にサインをお願いします。

年　　月　　日

ふりがな
承諾者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

シーエスケー・クリニック

【主な抗血栓薬】

抗血小板薬　バイアスピリン（アスピリン）
プラビックス（クロピドグレル）、エフィエント（プラスグレル）、パナルジン（チクロピジン）
プレタール（シロスタゾール）、エパデール（イコサペンタエン酸）、
アンプラーグ（サルポグレラート）、プロサイリン（ベラプロスト）、オパルモン（リマプロスト）、
ロコルナール（トラピジル）、コメリアン（ジラセプ）、ペルサンチン（ジピリダモール）
抗凝固薬　ワーファリン（ワルファリン）　ヘパリン（ヘパリン）
プラザキサ（ダビガトラン）、エリキュース（アピキサバン）、リクシアナ（エドキサバン）、
イグザレルト（リバーロキサバン）

経鼻上部消化管内視鏡検査を受けられる方へ

1. 検査目的

内視鏡を鼻から挿入し、咽喉頭・食道・胃・十二指腸をモニター画面に映し出して、
潰瘍・炎症・ポリープ・癌　などの有無を観察します。

2. 経鼻内視鏡検査の特性

① 経鼻内視鏡は通常の経口内視鏡より細く、直径 5~6 ㎜のものを使用します。
また、嘔吐反射（オエッ ・ ゲー となる反射）が少なく、比較的楽に検査ができます。

② 検査中はモニターを見ることができますし、経鼻内視鏡では会話も可能です。
但し、経口内視鏡となった場合には発声はできません。

3. 抗血栓薬（血液をサラサラにする薬）を常用中の方の注意事項

① 所見によって行われる組織採取による検査をご希望の場合は、
1 週間前からの**抗血栓薬の休薬の可否を、主治医に確認して、その指示に従ってください。**
服用・休薬の状況によって、組織採取による検査ができない場合があります。

② ワーファリンを常用している方は、組織採取による検査は実施できません。観察のみの検査をします。
通常通りに服用してください。

4. 女性の方へ

① 妊娠中の方は、内視鏡検査をお控えください。

② 授乳中の方は、使用する薬による影響の可能性があります。
お子様が 2 歳未満で、検査後に 24 時間の断乳ができない場合は、経鼻内視鏡検査ができません。

5. 検査前日・当日の注意事項

《 前日 》　夕食は 21 時までにすませてください。21 時以降も、水・お茶は飲んでいただいて結構です。
常用薬は普段通りに服用してください。

《 当日 》

① 当日の朝は絶食です。何も食べずに来院してください。水・お茶は、来院するまでは飲んで結構ですが、
来院後は飲水も控えてください。

② 普段の朝に常用している　降圧剤(高血圧の薬)・抗不整脈薬など(心臓の薬)　は、
当日の朝　起床時に服用してください。
糖尿病薬・インスリン注射は、当日の検査前は使用しないでください。
その他の常用薬は、服用した方が安心なものは起床時に服用して結構です。
サプリメントは、当日は控えてください。

③ 常用薬がある方は、その内容が分かるように お薬手帳　または　薬剤情報　をご持参ください。

経鼻上部消化管内視鏡検査の当日の流れ

1. 検査前処置
   ① 胃内の泡を取り除き、胃壁を観察しやすくするために、消泡剤を飲みます。
   ② 検査台に仰向けに臥床していただきます。
   粘膜のむくみをとり鼻の通りをよくするために、左右の鼻腔に血管収縮剤を点鼻します。
   ③ リドカインアレルギーが無ければ、両方 または 片方の鼻腔に、ゼリー状の局所麻酔薬（キシロカインビスカス）を注入します。

2. 検査中
   ① 検査時間は 10~15 分程度です。
   ② 鼻腔が狭い等の理由で鼻から挿入できない場合は、口からの検査になります。
   ③ 異常所見 または 疑わしい所見があれば、粘膜組織を採取(生検)して組織診断を行います。
   生検による組織診断は、別途費用が発生します。
   その結果は、1 週間後以降に来所していただいて、医師が説明します。

3. 検査終了後
   ① 検査後 30 分は飲食をしないでください。 30 分後にうがいを試してむせなければ、食事をしても結構です。
   但し、組織検査を行った場合は、検査後 2 時間は飲食をしないでください。
   ② 検査中に胃を膨らませた事による「張り感」は、ゲップ や ガス が出れば軽減します。
   ③ 検査後は、仕事も含め普段通りに過ごして構いません。車の運転も可能です。
   ④ 組織検査を行った方は、飲酒と激しい運動は控えてください。

偶発症・合併症について

日本消化器内視鏡学会 2008～2012 年 消化器内視鏡関連の偶発症に関する全国調査報告 によると
消化器内視鏡関連の偶発症の発生頻度は 0.073%、
観察のみ(生検を含む)を目的とした場合の偶発症の発生頻度は 0.014%、
経鼻上部消化管内視鏡における死亡例は 0%(経口上部消化管内視鏡は 0.00013%) と報告されています。

① 内視鏡の刺激によると思われる鼻出血は、多くの場合は数分でおさまります。
② 緊張や腹部の張りにより、迷走神経反射を起こし、冷や汗・血圧低下・脈拍低下・意識消失などの症状が生じる場合があります。
③ 使用する薬剤(消泡剤・血管収縮剤・局所麻酔薬など)のアレルギーにより、
発疹・嘔気・血圧低下・意識障害・ごく稀に呼吸困難 などの症状が生じる場合があります。
④ 消化管出血・消化管裂傷・消化管穿孔・皮下気腫・血腫形成・組織採取後の出血 などが生じる場合があります。

偶発症が生じた場合には当施設で適切な対処を行い、必要があれば救急病院へご紹介させていただきます。

シーエスケー・クリニック